

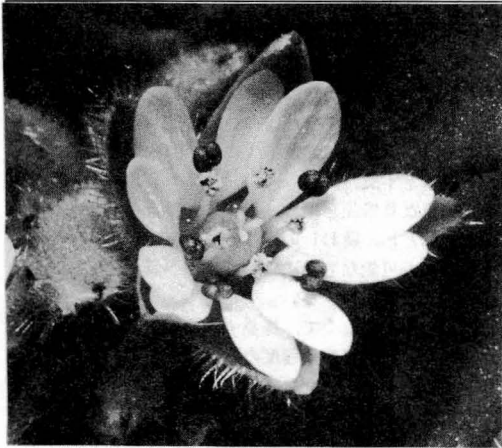
FLORA KANAGAWA

神奈川県植物誌調査会ニュース 第1号
231 横浜市中区南仲通り5-60 神奈川県立博物館内
(振替口座 横浜10195)
TEL 045-201-0926

APR. 10. 1979

No. 1

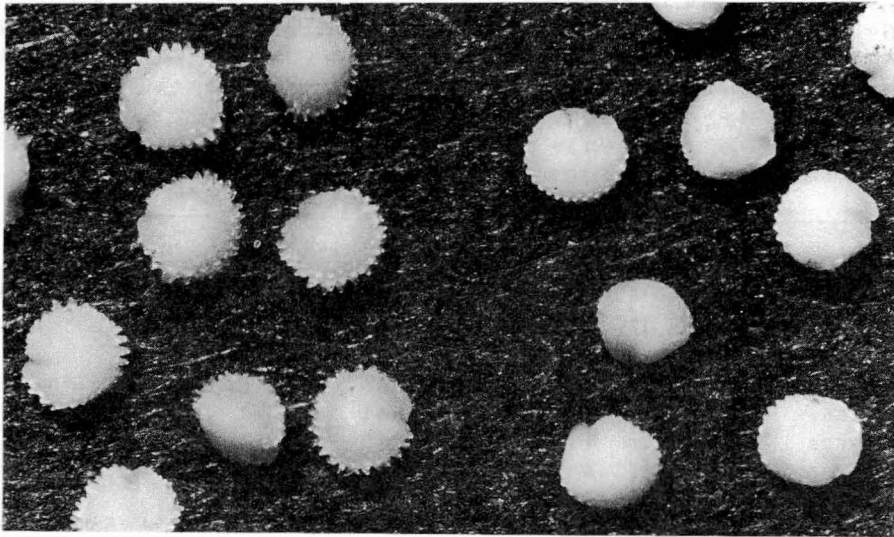
ミドリハコベ *Stellaria neglecta* Weihe の花
おしべは8~10本まれに5~6本の花もある。



コハコベ *Stellaria media* Villars の花
おしべは1~7本, 普通3~5本。



ミドリハコベ (左) とコハコベ (右) の種子。ミドリハコベの方がやや大きく
直径 1.5 mm 位, はっきりとした突起がある。コハコベは直径 1~1.2 mm で低
い突起がある。双方ともかっ色に熟すが未熟な時コハコベの方が黄色い。



ミドリハコベとコハコベ 大場達之(県立博物館)

植物の名前を正しく知るには肉眼でざっとながめている
だけでは不十分です。植物にもっと眼を寄せて、でき
れば10~20倍のルーペでのぞいて見ると世界が10倍か
ら20倍にひろがります。今回の植物誌の調査に参加され
た方はぜひルーペの視界を自分のものとして下さい。

ルーペの下で始めて明らかになるものとしてミドリハ
コベとコハコベを取りあげました。この両種は一括して
ハコベとされていることが多いのですが、くわしく見る

とはっきりとした別々の種類です、両種の区別はおしべ
の数と種子の形によるのが最もよいようです。

それは上の写真に示した通りですが、全体の生え形、
葉の色にも違いが見られ上の写真のように花卉のはげに
も差があります。都市域にはこの両種にやや似たウシハ
コベがありますが花が遅く咲き葉の形が違おう上にめしべ
の先は5個に分れています。ミドリハコベとコハコベは
3裂しています(写真参照)。まず庭先のハコベを調べ
て下さい。

神奈川県植物誌編さん事業計画

維管束植物について、他県に例を見ないユニークな、高度の内容を持つ植物誌を調査、刊行する。さしあたり植物誌は次の二編とするが、将来は蘚苔・地衣・海藻誌も編さんしたい。

A 神奈川県植物誌資料編

文献：神奈川県植物誌に関連のあるすべての文献を目録としてまとめる。

基準標本：神奈川県を基準産地とする Taxa の基準標本の所在を調査し、その写真を集成する。

分布と目録：文献および日本の主要館蔵の標本の中から神奈川県産のものを抽出し、これまでに神奈川県に記録のあった維管束植物をすべて目録にまとめる。

研究史：上記調査の資料をもとに神奈川県植物研究史を編さんする。

B 神奈川県植物誌分布編

調査期間（3～5年）内に神奈川県内に実際に確認された維管束植物の目録と分布図を集成する。

メッシュ：神奈川県を、古来からの自然村（字）を基準として108個のメッシュに区切り、各メッシュ内に現在生じている植物をすべて記録し、各種ごとの全県分布図を集成する。

この作業は、同時に各市・区・町・村の植物誌調査にもなる。

標本：記録された植物は原則としてすべて標本として保存し、公開の博物館に保存し、後代の利用と再検に役立てる。

C 調査期間

昭和54年1月より調査を開始し、3ヶ年をもって仮目録、仮分布図を印刷頒布し、不足の補充、訂正を行なって5ヶ年目に印刷・刊行する。

D 調査分担

調査員は県内植物同好者を主として構成し、メッシュを1個以上分担する。メッシュ調査とは別に、研究史、文献、分類群（イノデ属、スマレ科、キク科…など）の分担もできる。同定困難な群については専門家に依頼

する。

E 費用

当初は調査員の自弁とするが、少なくとも2年度以後は県費の補助を受けられるように努力する。

F ニュース、セミナーなど

調査員の情報交換、文献や資料の紹介などに役立てるため、FLORA KANAGAWA - 神奈川県植物誌調査会ニュースを随時刊行する。

また専門家を招いて、特定の分類群（例えばイネ科、イノデ属…など）についてのセミナーを行ない、調査能力を高める。

G 只今刊行中の「神奈川県史」がまもなく完結するが、それに引き続いて「神奈川県自然誌」の編さん呼びかけ、そのなかの一冊（あるいは2冊）として、調査、刊行されることも考える。

H 調査および標本の採集について

1. 標本は原則としてすべての種について、1点は採集し、標本とする。
2. 明瞭な栽培品を除き、自生または自然と思われるものを対象とし、疑わしいものはメモをつける。
3. 採集不可能なものについては、写真、スケッチ、その他の手段で記録する。
4. 個体数が少なく、採集すれば絶滅してしまうような場合は、同定可能な程度の断片（葉1枚、花1個など）でも可とする。ラン科植物で稀少なものは花の一部だけでも液浸標本とする。
5. 国立、国定公園や保護地域については、正式な採集許可を申請する。
6. 標本のラベルは統一規格のものを用意する。
7. 産量も多い、少ないなどメモをなるべくつける。
8. 蘚苔、地衣、海藻についても、将来「蘚苔・地衣植物誌」や「海藻誌」も計画しており、その基礎資料としてできるだけ集めておきたい。
9. 調査は各メッシュ毎にチェックリストに記録する。チェックリストは三浦、箱根、丹沢、横浜・川崎、県央などに分けて製作する。

神奈川県植物誌分布調査メッシュ

横浜・川崎地区				TO-3				城ヶ島				JO			
○横浜市				16 戸塚区				32 葉山町				HAY			
No.	地区名	面積km ²	略号	○川崎市				○湘南地区							
1	鶴見区	29.93	TSR	17	瀬谷区	16.95	SE	18	川崎区	31.55	KAW	33	平塚市	67.88	HI-1
2	神奈川区	23.68	KAN	19	幸区	10.05	SAI	34	中川区	14.59	NAH	35	藤沢市	69.63	HI-2
3	西区	6.29	NIS	20	高津区	3.446	TAK	36	多摩区	4.443	TAM	36	伊勢原市	55.72	HI-3
4	中区	18.35	NAK	21	○三浦地区			37	横須賀市	9.900	YO-1	37	茅ヶ崎市	35.76	FU-1
5	港南区	19.59	KON	22	鎌倉市	3.953	KA-1	38	三浦市	3.116	MIU-1	38	秦野市	104.16	FU-2
6	南区	12.50	MIN	23	逗子市	1.786	ZU	39	三浦市	3.116	MIU-2	39	伊勢原市	55.72	FU-3
7	保土ヶ谷区	21.61	HO	24	三浦市	3.116	MIU-2	40	伊勢原市	55.72	MIU-3	40	伊勢原市	55.72	ISE-1
8	旭区	32.50	AS	25				41				41			EN
9	磯子区	18.17	ISO	26				42				42			CH-1
10	金沢区	24.31	KAZ	27				43				43			CH-2
11	港北区	42.05	KOH	28				44				44			HAT-1
12	緑区	77.79	MI-1	29				45				45			HAT-2
13			MI-2	30				46				46			HAT-3
14	戸塚区	77.74	TO-1	31				47				47			HAT-4
15			TO-2					48				48			HAT-5



神奈川県植物誌分布調査メッシュ図

49		ISE-2	69	YA-5	89	AT-3	
50		ISE-3	70	YA-6	90	AT-4	
51	寒川町	13.22 SAM	71	YA-7	91	AT-5	
52	大磯町	17.23 OIS	72	YA-8	92	大和市 28.57 YAT	
53	二宮町	8.96 NIM	73	開成町 6.23 KA	93	海老名市 25.20 EB	
54	大山	OY	74	箱根町 94.03 HAK-1	94	座間市 17.94 ZA	
○県西地区			75	HAK-2	95	綾瀬市 2.224 AJ	
55	小田原市	114.24 OD-1	76	HAK-3	96	愛川町 34.11 AI	
56		OD-2	77	HAK-4	97	清川村 71.95 KI-1	
57		OD-3	78	HAK-5	98	KI-2	
58		OD-4	79	HAK-6	99	KI-3	
59	南足柄市	77.57 MI-1	80	真鶴町 7.00 MAN	○県北地区		
60		MI-2	81	湯河原町 40.67 YU-1	100	城山町 19.11 SH	
61		MI-3	82	YU-2	101	津久井町 122.18 TS-1	
62	中井町	19.75 NAI	○県央地区			102	TS-2
63	大井町	14.71 OI	83	相模原市 90.77 SA-1	103	TS-3	
64	松田町	37.33 MAT	84	SA-2	104	TS-4	
65	山北町	224.25 YA-1	85	SA-3	105	TS-5	
66		YA-2	86	SA-4	106	相模湖町 31.40 SAG	
67		YA-3	87	厚木市 92.86 AT-1	107	藤野町 65.04 FUJ-1	
68		YA-4	88	AT-2	108	FUJ-2	

○調査メッシュの境界線は確定したものでなく、地区ごとに検討して、まだ若干変更のある見込みです。

○小さな区市町村はほぼ現在の行政区かくを1メッシュに区切ってありますが、大きな区市町村はさらに2-8メッシュに区分してあります。その原図はブロック代表または博物館にありますので参考して下さい。

○実際の調査には国土地理院の25000分の1地図または

人文社の広域市街地図を参考して下さい。広域市街地図は次のようにわかれています。

L-12 川崎北部、L-13 横浜東部・川崎、K-12、川崎西部、K-13 横浜西部・大和・座間、KL-14、横浜南部・鎌倉・逗子 K-14、鎌倉・藤沢・茅ヶ崎、J-12、八王子・相模原 J-13、厚木・丹沢・大山、J-14、平塚・秦野・伊勢原・大磯。

事務局からのお知らせ

3月21日の発会式で次の方々に役員をお願いすることになりました。(敬省略)

顧問 榎山泰一, 大谷茂

代表 村上司郎, 松浦正郎

事務局 高橋秀男, 大場達之, 生出智哉

ブロック代表(横浜・川崎) 村上司郎, (三浦) 石渡治一, 鈴木一喜, (湘南) 守矢淳一, (県西) 松浦正郎, (県央) 高橋秀男, 秋山守, (県北) 城川四郎

○ブロック別に会議を開催し, 地区分担者の決定, 市町村別の責任者を決めました。しかしまだ全地区で担当者を決めることができませんでしたので, 決まらなかった地区については再度ブロック別の会議を開き検討することになりました。

調査会の名簿について

今までに申込まれた調査会に協力いただける方の名簿を同封しました。直接発会式に出席された方の名簿は完備していますが, 電話で受け付けた方分は不備です。勤務先とその電話番号など事務局までお知らせ下さい。名簿は地域別に分類し, その後に受け付けた分も追加して末尾のせてありますが, 分担とは関係ありませんので, まだ分担地区の決定していない方は希望する地区をお知らせ下さい。今のところ丹沢, 箱根, 県北方面の参加者が少なく, 手薄になっています。

標本製作について

標本製作は博物館に乾燥器があり, 野冊にはさみ込んでくれば, 簡単に乾燥ができますが, 当分の間職員の手不足でできませんので, 各自でお願いします。

経費の負担にご協力を

今のところ世話人の自己負担で, 通信費や印刷物の製作等をまかっています。発会式の折に賛同が得られました調査会の必要経費の負担について, 年額1,000円のご協力をお願いします。振替口座は「横浜10195 神奈川県植物誌調査会」です。振替用紙を同封しました。領収書は振替払込金受領証をもってかえさせていただきます。

費用は通信費, フロラカナガワ (FLORA KANAGAWA) やチェックリストの印刷などにあてる予定です。なお振替口座の通信らんには氏名, 54年度分会費〇〇円, 希望する分担地区, 住所と電話番号, 勤務先(又は所属)と電話番号を記入して下さい。(21日に受付で名簿に記入した方は不用)

横浜・川崎地区の植物誌調査打合せ会

4月21日(土)午後1時から博物館講堂で開きます。横浜・川崎地区の分担者(希望者も含む)は全員お集り下さい。都合の悪い方は希望地区をブロック代表(村上司郎宛)ご連絡下さい。

ラベルと標本調査カードについて

採集品につけるラベルと1978年以前の標本を記録するカードの様式は現在役員で検討中です。様式が決まりしだい本印刷にして調査員のお手もとにおとどける予定ですが, 少し時間がかかります。とりあえず採集品のラベルと標本調査カードに記入しなければならない項目(案)だけをお知らせしておきます。

標本調査については学名, 和名, 科名, 採集地, 採集者, 採集年月日, 標本庫とNo, 同定者, 備考(標本の状態を記入する)。

標本ラベルについてはNo, Fam. No, 採集地コード, 市区町村名, メッシュ内の地名, 学名, 和名, 同定者, 同定年月日, 採集者, 採集年月日, 備考などです。

さしあたり採集した標本(台紙は不用)には, 採集地, 採集年月日, 採集者を正確に記録しておいて下さい。

第1回 神奈川県植物研究講座開催について

神奈川県植物誌調査の一環として, 博物館では次の行事を企画しました。館の普及事業と実施しますので, 調査会の会員以外の方にも呼びかけます。

テーマ スゲ類の見分け方

期日 6月3日(日)午前10時~午後3時

場所 博物館講堂

講師 本館職員

対象 神奈川県植物誌調査会会員および一般植物同好者

申込方法 往復ハガキに住所, 氏名, 年齢, 職業, 電話番号を明記の上, 博物館学芸部「植物研究講座」係へお申込み下さい。

受付期間は4月24日(火)から5月22日(火)までで, この期間外は申込みは受けません。当日は採集したスゲ類の標本, ルーペをご用意下さい。

FLORA KANAGAWAについて

本会の連絡ニュース第1号を同封いたします。第1号は身近な植物で分類の難しいミドリハコベとコハコベの区別点を大場達之氏の写真で紹介しました。2号以降も1頁目はこのような類似植物の解説を続けていきたいと思えます。2-4頁は調査の計画やお知らせを特集しましたが, 今後は調査員の記事も予定しています。新産地短報, 研究短報, 県植物誌に関する文献の紹介, 観察記事, 類似植物の区別点など, お気がるに投稿下さるようお願いいたします。短くても, 内容の濃い, 充実したものにしたいと思えます。

(高橋秀男 記)